

テーマは空間の広がりと明るいイメージ 心の中の要望を引き出すプラン力に感激

娘のお友達の間でも
定評あるかわいい家

つくば市にある飯塚邸の特徴は、出窓・ベランダ・テラスなどによる立体感に富んだ外観。軒の出し幅も通常の45cmではなく60cmにしたため、家が一回り大きく見えます。窓の外のフラワーボックスは玄関ドアと色を合わせました。

ポーチは吹き抜けのような高さでスケール感があり、サイディングを上手に加工して、なめらかなアールを描き出しています。「壁際にはベンチを置いて、エントリーポーチとして使いたい」と、奥様。「娘のお友達やお母さん方にもかわいい家と評判です。自分のセンスが認められたようで嬉しい。すごく満足しています」

「最初、大手ハウスメーカー数社に出してもうたプランは、予算のわりに自由度が低くて面白味がなかった。確かにプロバンス風ではあるけれど奇棟屋根の総二階だったり。そこで情報誌の記事を頼りにBeハウスの牛久シヨールームを訪ねたところ、飯田社長は私たちの想像以上のプランを書き上げてくれました」とご主人。

リビングひとつにも 数えきれない工夫

「例えばLDKは、普通のプランでは単純な長方形の奥に
対面キッチンがある形で、それ
だとキッチンが真正面に見えて
しまう。かといって閉鎖的にも
したくなく、オープンでありな
がら適度に視線を逃がせるの
配置は、まさに絶妙だと思っ
ます」とご主人。

流行のリビング階段も、あ
えて採用しなかったそうです。
「家族の顔が見えると言われ
ますが、来客時には出入りし
づらく、うちには合わないと思
う。それよりも、子供たちが普
段から一緒に過ごせるよう広



飯塚邸外観。前面にはご主人がウッドデッキを手作りする予定



(上)階段上から玄関を見下ろせる吹き抜け
(右上より)●階段横には中2階の納戸が、子供たちの秘密基地にもなっています
●みんなで手伝えるオープンな広いキッチン。火を使わないIHなので安心
●飯塚一紀・典子さんご夫妻と、鞠汰(けんた)くん、雪羅(せら)ちゃん、玖羅(きら)くん
●シューズクローゼット。玄関内と同じタイルを敷き、明かり取りの窓もあるため奥行きが出ました

いリビングを造った方がいいし、
またガラス入りのリビングドア
で、階段を通る家族の気配が
分かるようにしました」

廊下を隔ててトイレや浴室
などの水まわりを奥へ隠し、リ
ビングからは生活臭を感じさせ
ない工夫もされています。

「プランを書いてもうらた
ときは特に意識しなかったけれ
ど、いろいろな会話の中から私
たちの要望を汲み取って、その
うえ家事動線や視線にも配慮
してくれていたことが、後から
考えて理解できました」

1階の天井高は2.55cm。
照明にはダウンライトを使い、
高さも広がりが増強されました。
「何も言わなくてもこうなっ
ていたのは本当に驚きました。
実際のところ、飯田さんの設計
によって初めて、自分たちがこ
ういう広くて明るい家を求めて
いたんだと気付くことができた
んです」

(取材/池田充雄)



(左)LDKは24帖。ポップな黄色のキッチンが映えました
(中)浴室には明るいオレンジ色を採用
(右)長男の鞠汰くんの部屋。壁紙は自分で選びました

Beハウス

—デザイナーとつくる家—

<http://www.behouse.jp/>

■建物面積 126.69㎡(38.24坪)
■土地面積 261.07㎡(78.81坪)